



.2001年度活動実績

環境保全活動の主な成果

環境方針に基づく2001年度の主な環境保全活動の成果は以下の通りです。

1. 地球・地域環境の保全

① 地球環境保全への取り組み

掲載ページ

温室効果ガスの排出抑制 P9～P16

石炭火力発電所の高効率運転の維持に努めた結果、石炭火力発電所の平均熱効率(発電端)は40.2%となりました。
仁賀保高原風力発電所(秋田県、出力24,750kW)が、'01年12月に運転を開始しました。当社初のバイオマス発電となるタイ国におけるバイオマス発電事業は'01年10月工事に着手しました。
SF₆の回収に努めた結果、'01年度のSF₆の回収率は98%を達成しました。
本店社屋をはじめとするオフィスにおける電力削減に取り組みました。本店ビルにおける電灯電力使用量は前年度比2%の削減となりました。また、全社オフィスの電力使用量は前年度並みの1,796.9万kWhでした。
化石燃料の利用効率向上のための技術研究開発に'01年度も継続して取り組みました。
'02年2月には燃料電池用石炭ガス製造技術開発パイロット試験設備が試験運転を開始しました。

CO₂の吸収・固定、回収への取り組み P17

オーストラリア国、エクアドル国における海外植林を継続し、'01年度は約1,200haの植林を実施しました。

京都メカニズム活用に向けた準備 P18

'01年度は京都メカニズムの活用に向けた調査を3件実施し、'98年度からの累計実績は20件となりました。

② 地域環境保全への取り組み

環境負荷の排出抑制 P19～P20

環境関連法令、環境保全協定を遵守し、排出抑制の取り組みを継続しました。
石炭火力のSO_x排出原単位は0.23g/kWh、NO_x排出原単位は0.53g/kWhとなりました。

資源の再生・再利用による廃棄物の低減 P21～P22

石炭灰の有効利用量については前年度並みの98.8万tを確保したものの、発生量が前年度比9.6万t増の153.9万tに増えたため、有効利用率は64%となりました。
脱硫石こうは100%有効利用を継続しました。
流木については約5,000m³を有効利用しました。
グリーン物品等の利用に取り組みました。再生紙購入率は93%となったほか、文具等については積極的な利用に努めました。
本店社屋における紙ゴミ等の低減に努め、一般廃棄物処理量を前年度比で10%削減しました。

有害化学物質の管理 P23

化学物質の自主管理に向けた取り組みを強化しました。PRTR法、ダイオキシン法に基づき化学物質の使用状況の把握と適正な管理に努めました。
PCB処理検討部会において、PCBの処理方針の検討を進めました。

自然環境の保全 P23～P24

建設工事等においては、環境アセスメントの結果必要とされた環境保全対策を確実に実施しました。

環境対策技術の海外移転 P25～P26

'01年度も海外プロジェクトに積極的に取り組むとともに海外研修生の受け入れを行い、環境対策技術の海外移転に努めました。当社は、'01年度末で58カ国、累計199件の海外プロジェクトの実績を重ねています。

2. 環境管理の充実

環境管理システムの導入 P27

'98年度から導入を開始したISO14001に準拠したEMSについては、'01年度に全社に導入を完了しました。

環境管理レベルの向上 P28

EMSの円滑な運用を図るため、内部環境監査員研修を実施し、'01年度末までに572人が受講しました。

環境会計 P29～P30

'01年度は環境保全コストの公表を行うとともに、環境保全効果の評価手法について検討し、環境会計のレベルアップに努めました。

3. 社会とのコミュニケーション

環境報告書の作成 P31

環境行動レポートを発行し、当社ホームページでも公表しました。

環境保全活動に関する広報 P31～P32

開放型発電所である奥清津第二発電所では、'01年度は19,660人の方々に見学いただきました。
各地で発電所開放デーを開催しました。

地域の環境保全活動への参加 P33～P34

・環境月間などに呼応して、「グリーンフェア」の開催や森林ボランティア、地域美化運動への参加など、全社で様々な活動を実施しました。

環境保全活動の結果を定量的に評価する指標として、定量目標を定めています。定量目標に対する実績は以下の通りです。

項目	単位	98年度 実績	99年度 実績	00年度 実績	2001年度		
					実績	目標	
温室効果ガスの 排出抑制	石炭火力平均熱効率(発電端)	%	39.1	39.5	40.1	40.2	39.5以上
	本店ビル電灯使用量	削減率%	-	-	-	2	5
	SF ₆ 回収率	%	-	-	90	98	95以上
	再生可能・未利用 エネルギーの開発	kW 累計	0 329.1万	0 329.1万	5,800 329.7万	7,200 330.4万	7,200以上
CO ₂ 吸収・固定、 回収への取り組み	海外植林事業面積	ha	700	1,000	1,100	1,200	2,200ha以上
環境負荷の 排出抑制	SO _x 排出量	g / kWh	0.33	0.22	0.24	0.23	0.30以下
	NO _x 排出量	g / kWh	0.77	0.67	0.53	0.53	0.60以下
資源の再生・再利用 による廃棄物の低減	石炭灰有効利用率	%	71	75	67	64	65以上
	石こう有効利用率	%	100	100	100	100	100
	流木有効利用量	m ³	3,300	4,500	7,500	5,000	4,500以上
	再生紙購入率	%	-	-	-	93	100
	本店ビル紙ごみ等の 一般廃棄物発生量	削減率%	-	-	-	10	10